

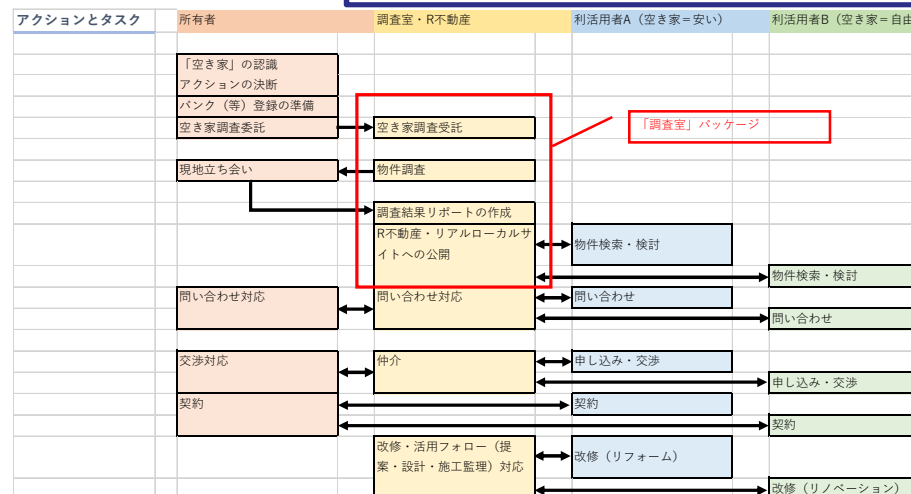
課題	これまでの「空き家バンク」という中性的なデータベースでは、そのあとの関係メンバー(所有者、自治体、提携団体、利活用者)の行動、判断を誘発するに至らなかったのではないかと
目的	関係メンバー(所有者、自治体、提携団体、利活用者)の行動判断、そして利活用に結びつく情報化手法の確立
取組内容	【1】＜調査フローの整理・システム化＞ 【2】＜調査モデル事例の公開準備と選定、基準と要件の整理＞ 【3】＜モデル調査の実施＞ 【4】＜調査事例のプロセス公開と報告のサイトのリリース＞ 【5】＜利活用サポート事業への橋渡し＞
成果	1)金沢市、珠洲市での調査室活動のアナウンスと空き家対策の認知の普及 2)珠洲市において自治体と協働した調査実績(珠洲エリア5件、金沢エリア3件) 3)実施された調査から抽出された調査要件リスト 4)調査フロー(金沢モデル、珠洲モデル)の整理・各地の「空き家バンク」を補完する「調査室」という考え方 5)R不動産、reallocalという、メディアサイト公開とそこからの反響



調査室活動のアナウンス
と空き家対策の認知の普及



珠洲市において自治体と協働した調査



「調査室」パッケージ

メディアサイト公開とそこからの反響

調査フロー(金沢モデル、珠洲モデル)の整理

木造たてもの調査室(空き家診断)(有限会社E.N.N)

1)金沢市、珠洲市での調査室活動のアナウンスと空き家対策の認知の普及 5)R不動産、reallocalという、メディアサイト公開とそこからの反響

- 空き家調査室の活動自体を告知する広告媒体を制作・配布
(2021. 9~10)
 - 新聞折り込み:3万部
 - 目的
 - ・「空き家」という「対象の認知」
 - ・「空き家対策」という「方法の認知」
 - 手段
 - ・ 敢えて「遅く、重い」メディアである「紙媒体」を使うことで高齢者などへの情報のバリアフリーを考えた。
 - 効果
 - ・ 関係協力者による配布による、「安心の手渡し」
 - ・ ウェブメディアとの連携による、間口の多様化
 - ・ 問い合わせのエリア性から、逆にエリアの特性が分かる
- 金沢R不動産、reallocalサイトにコラム、紹介記事をアップ
(2021. 9~)
 - 効果
 - ・ 全国各地からの問い合わせ(物件、手法とも)
 - ・ エリア外への波及効果を確認
- 他普及活動:
 - 新聞掲載や金沢SDGs(官民団体)展示会やオンラインプレゼンイベントへの参加

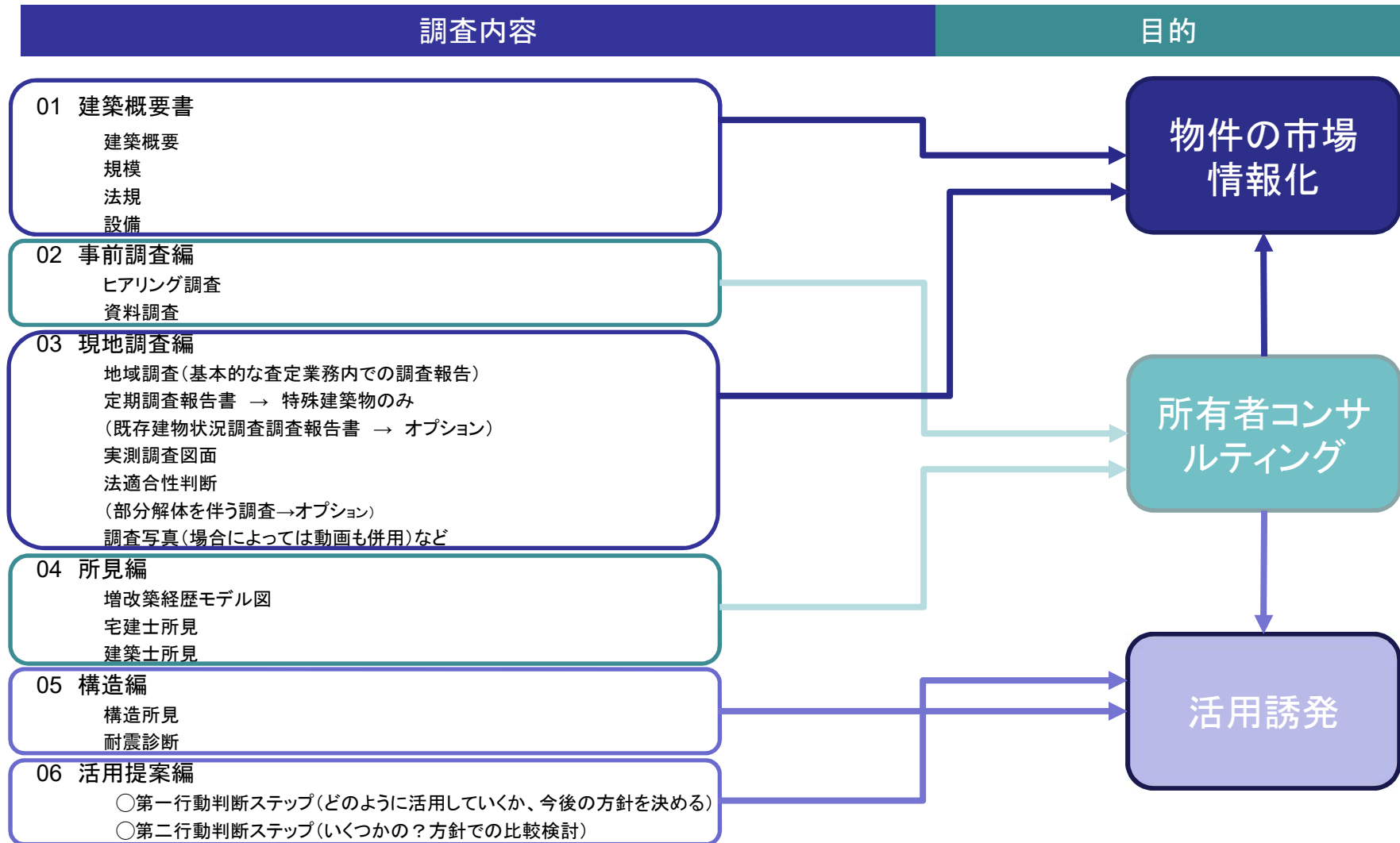


2) 珠洲市において自治体と協働した調査実績

- 珠洲市における空き家調査室の試行的活動
(2021. 8～2022. 2)
 - － 目的
 - 自治体との協働における課題と可能性
 - その中での調査室フローの検討
 - － 内容
 - 8月下旬: 珠洲市企画財政課への打診
 - 9月9日: 調査業務連携のミーティング
 - 10月8日: 珠洲市役所での空き家活用に向けた意見交換会
 - － 参加者: 珠洲市、のと宅建取引業組合、地域工務店、地域建築士会、商工会議所、E.N.N.
 - － 珠洲市の空き家バンクと調査室の連携検討
 - 11月～12月: 5件の空き家調査実施
 - 12月～2月: 調査報告書作成、追加調査など
 - － 今後の展望
 - 整理されたフローにより、行政、組合との連携を重ねていく方向へ



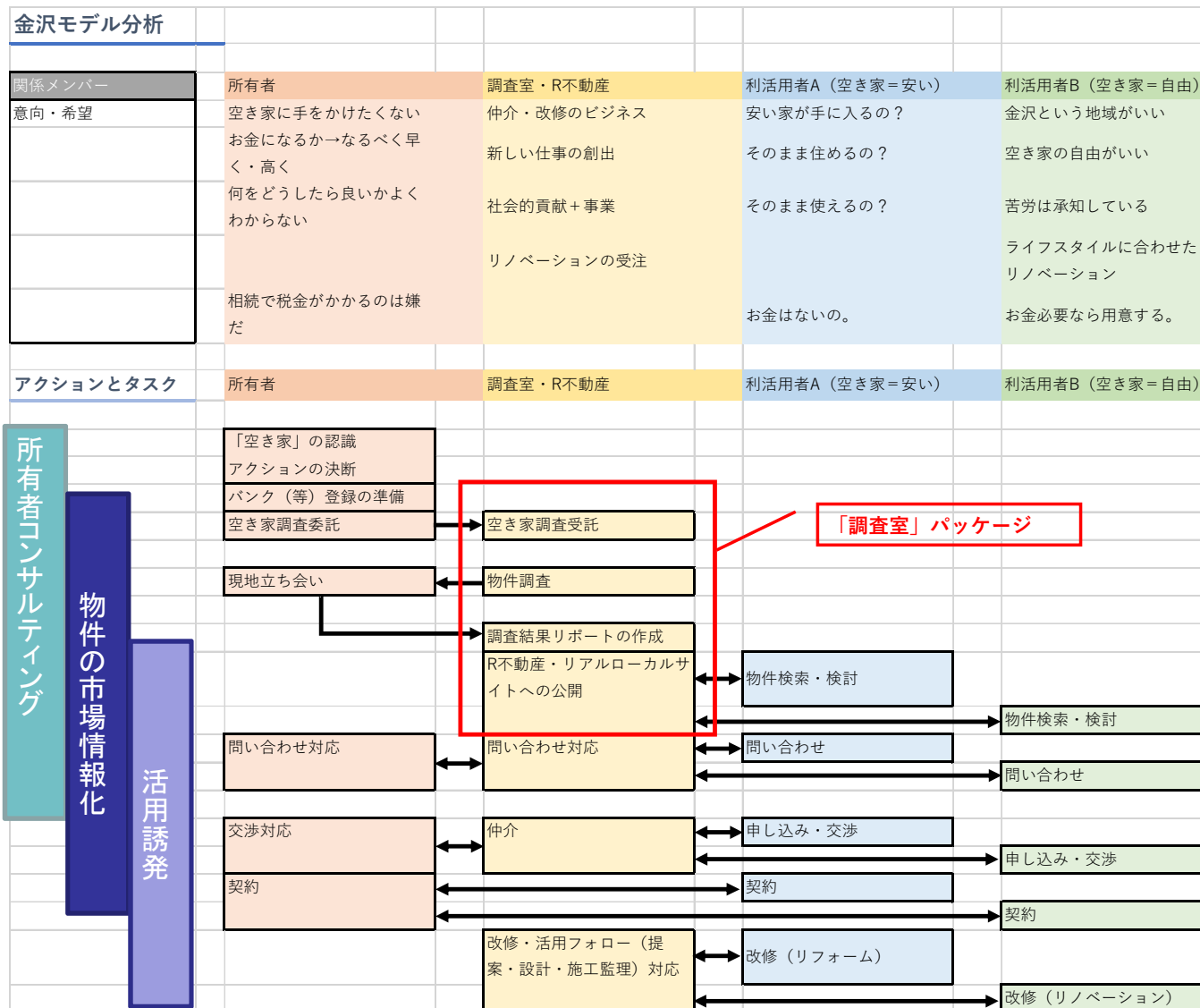
3)実施された調査から抽出された調査要件リスト



木造たてもの調査室(空き家診断)(有限会社E.N.N)

4)調査フロー(金沢モデル、珠洲モデル)の整理

・各地の「空き家バンク」を補完する「調査室」という考え方



自治体と連携する珠洲モデルとそれ以外の民間事業活動としての金沢モデルそれぞれで調査室のパッケージを位置づけと分類した。

1)金沢モデル

→所有者と利活用者を媒介する市場情報化に加えて、所有者および利活用者への提案・コンサルティングを重点的に考える構造

2)珠洲モデル

→地域との協働を前提に、それを補完する市場情報化を強くアピールする構造

木造たてもの調査室(空き家診断)(有限会社E.N.N)

4)調査フロー(金沢モデル、珠洲モデル)の整理 ・各地の「空き家バンク」を補完する「調査室」という考え方

